



2017年12月18日

各位

会社名 株式会社 タケエイ
代表者名 代表取締役社長 山口 仁司
(コード: 2151 東証第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員 柳澤 茂
(TEL 03-6361-6820)

発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF製造技術の開発に対する 補助金の交付決定に関するお知らせ

当社の「発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質 RPF 製造技術の開発」事業(以下、本事業)について、福島県より「平成 29 年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金」(以下、補助金)の交付決定通知を受領しましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお本事業は、本年 6 月に取得した福島県相馬市の事業用地の一部を使用して推進してまいります。

記

1. 補助金交付の概要

福島県は、福島県浜通り地域等の15市町村において産業復興の早期実現を図るため、福島イノベーション・コースト構想の重点分野について、最先端の技術開発を活用した地元企業などによる地域振興を目的として、実用化開発等の費用の一部を負担する補助金制度を創設しました。

当社は、首都圏を中心とした建設廃棄物由来の廃プラスチックを利用して、発電用燃料として高品質RPF(廃プラスチック固形化燃料)の製造技術を開発するため、本補助金の申請をし、この度、福島県より交付決定通知を受領しました。

当社は、今年度、①洗浄技術の向上により無機物質を取り除くプロセスの実証を行い、さらに来年度以降、②AIロボット・高度光学センサーの技術を応用して自動選別した高品質RPFの製造、将来的には③地産地消型発電モデルの構築、④安価なクリーンエネルギーを用いた電解水素の製造に関する事業を検討してまいります。

2. 交付内容 (補助金)

- | | |
|-------------|--|
| (1) 対象となる事業 | 発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF(廃プラスチック固形化燃料)製造技術の開発 |
| (2) 交付予定日 | 2018年3月下旬
(補助対象となる事業に関する検査終了後) |
| (3) 交付予定額 | 83,840千円
(開発予定金額167,680千円の50%) |

3. 事業概要

名称	発電用燃料としての建設廃棄物からの高品質RPF(廃プラスチック固形化燃料)製造技術の開発
開発予定金額	167,680 千円 (2017 年度分のみ) ※2018 年度も引き続き開発を行う予定ですが、2018 年度の開発費用に対しての補助金は改めて審査が行われることになっています。
補助金	金額: 83,840 千円 名称: 平成 29 年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金 区分: エネルギー分野
予定地	福島県相馬市光陽町二丁目 2 番 21 号 (当社相馬事業所内)
今後の予定	12月中旬 開発事業開始 2月下旬 開発実績に関する報告書提出 3月下旬 補助金受領

4. 今後の見通し

本事業開発による当社連結業績見通しに与える影響は、軽微となる見込みです。

以上



相馬事業所の実用化開発プラント